



# 鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## パウロの言葉

「怒ることがあっても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで怒ったままでいてはいけません」

聖書(エフェソ書4章26節)

牧師 河合裕志

世の中、生きていくといろいろな怒りを覚えることがある。新型コロナウイルスということでマスクを大量に仕入れ高く売るといふ人達がいた。これには怒りを覚える。あるいは人からバカにされた、不当な扱いを受けた、これには腹が立つ。

怒ることはすぐに悪いということではない。悪くないどころか、人は不正を見たならばこれを怒る、ということがむしろ大切ではないか。なんでもいよいよ、ということでは社会の改善進歩はない。

ただそこでカンジンなことは「罪を犯してはなりません」ということだろう。

「史上最初の殺人事件」、それはカインが弟アベルを殺害したこと(創世記4章)。カインは、神がアベルの献げ物を喜んだのを見てアベルに対して怒り・ねたみを覚えた。神はこれを見てカインに「罪は門口に待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない」と警告。しかしカインはこれを聞かず弟を野原に誘って襲いかかり殺してしまう。殺人という最も重い罪を犯す。以来人類は「カインの末裔」ということになる。

京都アニメーション放火事件(2019年7月18日)を引き起こした容疑者は会社に対して強い恨みを持っていたと

いう。しかしだからといってガソリンをまいて建物に放火して多くの人を殺害してしまうことは許されることではない。結果前途有為な36人もの人々が死亡、33人が重軽症を負うという大惨事に至った。

怒り、ねたみ、恨みといった感情、これは人間をやっているならば誰の胸にも時に宿るもの。これをしかし私たちはコントロールしなければ。罪を犯すところまで行かないようにブレーキをかけねば。少し冷静になって考えてみなければ。この怒りの思いはどうして起きたのか。こちらに反省すべき点はないのか。先方が100%悪いか。もしこちらに少しの非も認められない場合いかなる報復措置を取るか。その際決して暴力的手段に訴えず法的手段に出る、ということではなければならないだろう。

思い切って許してしまう道もあるかもしれない。些少なことからこれは可能かも。そうすれば「日が暮れるまで怒ったままで」いなくて済む。そしてグッスリ眠れる。しかしそれだって簡単ではない。神に祈り、キリストに願って人を許す力を頂いたらどうだろう。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時～7時